

京都大学附置研究所・センター第12回シンポジウム

京都からの挑戦

地球社会の調和ある共存に向けて

3月11日(土) 午前10時～午後5時10分

石川県文教会館(金沢市尾山町10の5、

金沢駅よりバス10分)

「自由^{フリースタイル}風格、京大」をテーマに、様々な分野の研究者らが講演とパネル討論で語ります。入場無料。

(応募要領など2面)

主催|| 京都大学、京都大学研究連携基盤
後援|| 石川県教育委員会、読売新聞社

京都大学附置研シンポの内容と応募要領

【講演】「人はなぜ、森で感動するのか」伊勢武史・フィールド科学教育研究センター准教授、「森林の『メタボ化』を診断する」木庭啓介・生態学研究センター教授、「地域研究で考えるリアルなアジア」中西嘉宏・東南アジア地域研究研究所准教授、「ウイルス化石が語る生命の進化」朝長啓造・ウイルス・再生医科学研究所教授、「芸術とはどんな〈出来事〉なのか」吉岡洋・こころの未来研究センター教授、「生命を支える海の微量元素」宗林由樹・化学研究所教授、「ブラックホールだらけの宇宙」井岡邦仁・基礎物理学研究所教授

【応募要領】ウェブ、ファクス、往復はがきで、氏名、住所、連絡先、年齢、性別を明記し、〒606・8501京都市左京区吉田本町 京都大学人文科学研究所総務掛 (☎075・753・6902、ファクス075・753・6903、<https://u.kyoto-u.jp/sympo2017>) へ。先着590人。